

## 第5回 観音寺市新道の駅市民検討委員会 議事要旨

---

開催日時 令和6年2月27日(火) 19時00分～20時30分  
開催場所 ハイスタッフホール（観音寺市民会館）会議室1  
出席者 委員14名、オブザーバー3名、事務局5名

---

### 【会議資料】

- 資料1 新「道の駅」かんおんじ（仮称）導入機能決定の流れ（予定）
- 資料2 新「道の駅」かんおんじ（仮称）の今後の進め方（令和6年度以降）
- 資料3 新「道の駅」かんおんじ（仮称）導入機能に関する意見収集のご報告
- 資料4 第2回作業部会の意見のとりまとめ結果
- 資料5 第2回作業部会の意見のとりまとめ結果を踏まえた導入機能への反映方針
- 資料6 観音寺市が必須と考える導入機能
- 資料7 導入機能（案）の整理
- 資料8 基本理念・基本目標への意見の反映
- 資料9 ワークショップ（例）

### 【参考資料】

- ・道の駅新聞（市民、中高生、子育て世代）
- ・アンケート調査結果（市民、中高生、周辺自治体、観光客）

### 【次第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 新任委員の紹介
- 4 議題
  - (1) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）導入機能案決定の流れ（予定）  
事務局： 「資料1」を用いて説明。
  - (2) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）の今後の進め方（令和6年度以降）  
事務局： 「資料2」を用いて説明。  
  
委員長： 説明いただいた議題（1）、（2）の内容で、ご質問、ご意見ありますか。特に無いようなら次の議題に移ります。
  - (3) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）導入機能に関する意見収集のご報告  
事務局： 「資料3」を用いて説明。

(4) 作業部会のとりまとめ結果と導入機能（案）及び基本理念等への反映について

事務局： 「資料4」から「資料9」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた議題（3）、（4）の内容で、ご質問、ご意見ありますか。

委員長： 今の説明を補足すると、作業部会で導入機能原案がまとまり、23の機能の数としては多いかと思いますが、1機能で1施設できるわけではなく、このような要素を盛り込んだ道の駅にしたいということでもまとまっているということになります。例えば、物販施設に相当する部分で、地場産センター、地産地消マルシェ、バーベキュー場食材提供補助施設の3つがありますが、今後の収益性の検討や民間企業のヒアリングなどを経て、1施設にこの機能の要素を含むものということになるかもしれないし、いくつかの機能は、周辺施設との連携で整備すべきということになるかもしれません。実際の姿の整備としては、まだ確定していない部分もありますが、最低限盛り込みたい要素としての項目としています。

また、基本構想を作った段階から何が変わったのかということを読み取るのが難しいかと思いますが、その部分については、資料の4つの基本目標と導入機能施設展開イメージの表の中で、作業部会で新たに加わったものを青字で追加しています。この追加したものというのが、基本構想の段階では具体的にイメージされていませんでしたが、作業部会を通じて導入機能として、クローズアップされたものです。それ以外にも、作業部会で出てきたキーワードがありますが、これについては、市民検討委員会の基本構想の段階で、施設全体のキャッチコピーを事前に定めることにより、今後の対応で変更できなくなるため、決定の直前でやめたという経緯があります。これを基本計画が定まる令和6年12月に向けて、再度基本計画の内容に合わせてキャッチコピーを決めていくということになります。

委員A： デジタルサイネージというものはどういったものでしょうか。

委員長： 都会に行くと、よく地下鉄や広場などで見かける大きな液晶モニターがあって、そこに色々情報が表示されて、それが何分かごとに切り替わったりするイメージです。作業部会で出た意見としては、昔ながらの観光案内所ではなく、最新のデジタル化が反映できるような表現にした方が良いとのことでした。

委員B： 道の駅を作る時の基本的なコンセプトは何なのか、色々なところにアピールできるようなテーマがあってもいいと思いました。細かいところを検討していますが、一番基本の部分が抜けていると導入機能案を見て思った第一印象です。それをもう少し踏みこんで世の中に受け入れられるテーマが必要だと感じ、今後の具体的な検討の中で取り込んでいただきたいと思いました。

事務局： 観音寺市としては、基本構想で市民の方の日常利用と市外から観音寺市に来ていただいた方にも楽しんでいただき、消費活動の誘発と地域経済の活性化をするというのがコンセプトで今現在この導入機能案になっていますが、今後検討しながら考えていけたらと思います。

委員長： 作業部会の中から新「道の駅」の目玉を考えることの投げかけもあり、議論がされ

ていました。地元の住民が憩えるような場所というのが色々なアンケートなどから出ており、その要素は盛り込むことになりましたが、まだ目玉と言われるようなパンチとしては弱いということを事務局と話しています。これから具体化に向け、作業が進んでいく段階で、もう少し特徴化していく部分ではあるかと思います。まだまだ目玉作りは課題にはなっているということは、しっかり留意しながら進めていかなければいけないところではあります。

(5) その他

事務局： 第6回の市民検討委員会は、令和6年4月3日の開催です。また、開催までの間に導入機能原案に対するご意見などについて事前にお伺いさせていただきます。

委員長： 他に何かご発言が必要な事項はありますか。

オブザーバー： 防災道の駅で整備するにあたり、地域防災計画で避難所になっていない道の駅がほとんどなので、市の危機管理課との連携をお願いします。

5 閉会